

# 生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

<b>【研究課題名】</b>	原発性肺癌におけるカルパインの発現と臨床病理学的因子・術後予後との相関		
1. 研究の目的と方法	<p>肺で発生したがん（原発性肺癌といいます）が見つかり治療を受けられる患者さんの数は年々増加傾向にあります。従って原発性肺癌の治療前の検査や手術の数も増えてきていますが、原発性肺癌は肺の内部に発生するがんであり、検査や手術で腫瘍が肺のどの部位に存在するか、正確に認識できることは少なく、繰り返し検査を行ったり手術時間が長引いたりすることもあります。東京慈恵会医科大学では新たな試みとして、がん細胞に多く含まれるカルパインというたんぱく質を検出できる薬剤を検査前や手術前に肺癌が存在するであろう部位に振りかけて、腫瘍の位置を正確に特定しようと考えています。</p> <p>その前段階の実験として、すべての原発性肺癌でカルパインというたんぱく質が検出できるか、原発性肺癌の中でたんぱく質の発現の強弱があるかなどを2015年1月1日～2020年12月31日までの間に東京慈恵会医科大学附属病院で手術を受け、切除された原発性肺癌組織の残りの検体を用いて染色し、2015年1月1日～2024年3月31日までの臨床情報と照らし合わせて検討します。</p>		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2027年3月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	原発性肺癌の患者さんで、2015年1月1日～2020年12月31日の間に附属病院にて原発性肺癌の手術を受けた20歳以上の方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	手術の時に切除した組織	
	(2) 試料の取得の方法	手術の時に切除し、通常は廃棄する予定の組織の一部をいただきます。	
	(3) 情報の種類	診断名、性別、年齢、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査、病理検査）	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 呼吸器外科
		氏名	木下智成
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	東京慈恵会医科大学 呼吸器外科 教授 大塚崇		

	(4) 共同で研究を実施する施設とその責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2024年11月頃～	
<b>【問い合わせ先】</b>	機関名：東京慈恵会医科大学 呼吸器外科 研究責任者：助教 木下 智成（きのした ともなり） 窓口担当者：助教 須山 祐（すやま ゆう） 電話番号：03-5400-1200（内線 3747） 対応時間：平日 09：00 ～ 16：00	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。  
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。